

風



発行所
堀田賢逸後援会

平鹿町醍醐字醍醐98-2
TEL:0182-25-4011

e-mail:
igo-hotta@amber.plala.or.jp

堀田後援会大車輪

年も改まつた豪雪の1月30日総会が開かれ、平鹿町出直し戦に堀田後援会の原動力であった藤原会長が辞任し、親戚筋の柿崎幸司氏が会長、副会长は中嶋岩雄氏、高橋俊悦氏と若返り今後の活躍が期待されたのだった。ところが4月に入り柿崎会長が「ゆづぶる」の支配人となつたことで会長を辞するのやむなきに至りそこで急遽8月31日臨時総会を開き中嶋氏を会長に副会长に高橋清太郎氏を新任し高橋俊悦氏は留任とし新体制で臨むことになつた。

柿崎氏の在任は6ヶ月と短かつたが、その間、上下通り、石成への「推薦依頼」の承認を得、選対委員の委嘱、「平鹿町議選」と重責をこなした。

平鹿町議選は無競争当選となつたが、この僅か一ヶ月足らずの任期の選挙のため新横手市議選に向けての準備体制は平鹿町が一番遅れていたように見受けられる。堀田議員はいち早く市議選出馬を表明していたが後援活動は遅々として進まなかつた。そこで活動を促進すべく後援会事務所を設けることとし醸醸ボンボ館を恩借し8月27日、堀田後援会事務所の開設にこぎつけた。事務所開きには来賓に柿崎町長、真田議長、佐藤透寿会会长、小原醸醸ボンボンクラブ会長、無江ボンボ館長が出席され盛大に行われた。各氏より堀田議員の愚直なまでの誠実さと実行力が披露されるとともに数々の激励のお言葉をいたいた。

中嶋新会長も、会員の協力のもと粉骨碎身で頑張るといいさつされた。

なお「通寿会」の会員は郵便局を退職された、かつては堀田議員の先輩や同僚で、この会がわが後援会活動をご支援下さることは誠に心強い限りである。

もう一つの朗報は堀田議員が「第二のふるさと」と公言している十文字町であればこそで結成までご尽力下された各位に心から敬意を表する次第である。

堀田賢逸後援会事務所開き



それは、9月12日堀田後援会に十文字支部が誕生したことである。結成総会は十文字町「ナンの館」で開かれ、支部長に斎藤大氏、副支部長に佐藤順治氏、事務局長に斎藤秀晴氏が任命された。本部からは伊藤（富）が出席した。

前後しますが9月8日には選対委員会が開かれ後援会加入促進と今後の活動について協議された。また9月15日には後援会青年部が結成され幹事は8名が決まりた。部員はおよそ40名、若者の政治離れ、地域離れがさやかれていた昨今、青年部の温連帯と団結が得られれば今後に大きな期待が寄せられるところである。

この度の市議選には定員34名の2倍ほどの立候補者がいるだろうと見込まれ後援会連絡所の看板も賑やかさを増している。

これまでのよう自分だけ支持すれば事足りると言つた物ではなく、広く同志を募る必要があることは皆様もご承知のとおりです。

堀田議員を地域の代弁者として新横手市の溝手の代表として必ず中央へ送るべく後援会活動に一段と尽力されるよう期待して止まない次第である。

腹を決めてがんばります

8月11日の臨時総会において、はからずも会長に就任することとなりました。

1月の第4回総会で、藤原正さんから柿崎幸司さんに会長のバトンタッチがされたばかりでしたが、その後柿崎さんが公務に就かれたことから急きよこのようなこととなりました。非才をかえりみる猶予もなく引き受けいたしましたが、皆様のご協力を頼みに腹を決めてやらせていましたがりますので、よろしくお願いいたします。

さて、堀田議員は4年間公約を見事に果たし、8月7日二期目を無投票で選出されました。それ以前から、次のステージでの活躍を周囲から期待され、本人もそのつもりで精力的に活動しておられます。しかしながら舞台は初のケースでもあります。しかし次の舞合は初のケースでもあります。

非凡な彼の才能を新市の基礎作りに發揮してもらうためには「一にも二にも」会員各位の絶大なお力に頼るしかありません。時間もなくなつてきました。秋作業の最中ではありますが後援会が一丸となつて大願成就に向かってくださることをお願いして、会長就任の挨拶をいたします。

堀田さんと私

堀田さんと私はよく碁をやる。勿論私より強いのですが、強い人にありがちな人を馬鹿にしたような手、まかし手、紛らわしい手など使つたことがない。誠実で頭の下がるような石を置く。いつもその事なので彼と碁を打つていてるといつ勝敗の手を忘れてその正しい碁に引き入れられてよい碁になっていく。

人の為に尽くす人はこうでなければと常に思つてゐる……が、それがなかなかできない。それは、それまでにいかに生きて来たかを証明するようなもので人真似の出来ない事だと思う。そういう心でみんなの為に尽くしてもらいたい。それが堀田氏の為に一番言いたいことなのである。

新会長 中嶋 岩雄

腹を決めてがんばります

毎年この時季になると自然災害に悩まされる。今年も大型ハリケーン「カトリーナ」が米国南部に大被害をもたらし、直後に、それを上回る台風14号が日本に上陸し、西日本に大きな傷跡を残して去つた。当地に被害がなかったのは幸いである▼8月8日、郵政民営化法案の参院否決がきっかけで、永田町に小泉台風が発生し、9月1日まで日本全国を吹き荒れた。▼この台風が発生した理由も、落合傘や刺繡が現れた経過も、小泉自民党が圧勝した結果も、凡人には理解できまい▼郵政民営化に賛成か反対かを問うた結果として、年金・福祉・医療・増税、そして改憲までもが思うように出来る状況が生まれたことをどう理解したらいいのだろう▼今回の選挙で、小政党が生き残され、自民・共产党の二者選択いわゆる、2大政党化の傾向について、「これは民主主義の行き詰まりの形」と指摘する識者が居る。少数意見は抹殺され論議のない状態に陥るからだと言う▼10月1日新しい「横手市」が誕生する。我が街を「どんな街にするのか」基礎作りの大事業段階に入つた。民主主義をわきまえた情熱のある立派な当事者を送り出そう。



「新市の基礎作り」
理念を持って

堀田けんいつ



具・体・的・に・は

一律減反を見直し、適地適作で自給率を高めます

起業促進、企業誘致で働く場の拡大を目指します

子供、若者、女性の参画で夢と希望の街を目指します

高齢者の知恵と技を活かし、活気に満ちた街を目指します

(生涯現役、
活き活き長寿)

横手盆地が手をつなぎ観光ルート開発を目指します

サービスがいきわたり、格差の無い
街を目指します

みなさんと力を併せて実現を目指します。

編集後記

タローの応援

醜醜地区の水道工事は23年前の昭和57年から始まつた。当初、上通り、下通り、石成の3地区では、水が良かつたことで、水道設置の要望は弱くそのままになつた。その後年月の経過とともに水位が下がり各自、井戸を掘るなど対応していくが、何時水枯れするか不安があり水道設置実現を望む声が強くなつていた。そのため、堀田町議に働きかけを頼つて上水道設置を陳情し、議会の採択を得て推進することになった。

アンケートによる当地域の整備必要な事業の順番は①上水道②下水道③国道の歩道拡幅④流雪溝などとなつてしまつた。また水道をすぐ使用するは70%であり早期実施を望む声の大きさがわかりました。

予算も7500万円つき、私たちの切実な声が認められました。

三地区の皆さんとの協力を本当に感謝します。尚今後とも地域の声を反映させる代弁者となる堀田さんに期待します。

上下水道推進協議会

会長 高橋 峰男

文化生活の中で最も大事な 水道設置について